

「地域の連携」を推進するために必要な論点

第2回の意見聴取において、複数の委員から共通して出されていた意見を抽出し、2つのテーマを絞りました。今回の審議会では、最終的な答申に向け、これらの意見を掘り下げ、議論していきたいと事務局では考えています。

【掘り下げる意見テーマ1】

町内会同士が連携するための支援（情報共有、人材育成、体制整備）について

（意見一覧表での関連する主な意見）

論点 1-1⑤、⑥、⑦、論点 1-2⑤、⑨、⑩、⑫、論点 1-3②、⑦、論点 2-3①、③、論点 3-1②、⑤、⑥、⑦

意見聴取2回目で出された主な意見

- ・ 人材発掘、育成は地域課題、町や外郭団体としても課題、区長や役員も苦労している
- ・ 担当役職員同士での課題共有、少子高齢社会へむけた世代間交流が大切
- ・ 自治会長と行政区長の二重構造に問題が生じているのではないか
- ・ 自治会長や自治会役員が情報交換したりする場が必要
- ・ 町内に「全町内会情報」を掲示、町内会長だけではなく、全町民が見える形の情報の公開

○今回議論すべき事項

- ・ 町内会が連携の課題としていることは何か
- ・ 町内会のために町が支援すべきこと（現状でできていないこと）は何か

【掘り下げるテーマ2】

コーディネーター、中間支援、相談窓口の設置、まちづくり推進センターの機能強化について

（意見一覧表での関連する主な意見）

論点 1-2③、⑦、論点 2-1⑦、論点 2-3②、③、⑥、⑦、論点 2-4②、⑦、論点 4-1④

意見聴取2回目で出された主な意見

- ・ 地域づくりに関する「何でも相談窓口」の設置とコーディネーターの配置について
- ・ コーディネーター（第三者的、調整役）が個人とグループ、自治会を繋ぎ新たな人材との出会いや活動を継続していくために必要
- ・ 情報共有は多様な団体、組織が連携するうえで必要。また、連携するうえでの留意点や方法などがわかる窓口が必要
- ・ ゆる.ぷらの新たな拠点づくりが必要
- ・ ゆる.ぷらのサテライトとしての新たなまちづくりの拠点を提案してはどうか

○今回議論すべき事項

- ・ 窓口、コーディネーターはどのような役割でどのような人が担うべきか
- ・ 既存のゆる.ぷらの施設、機能で不足している、強化すべき点は何か
- ・ 新たな拠点に求めることは何か（それは拠点を新設しないと解決しないことなのか）